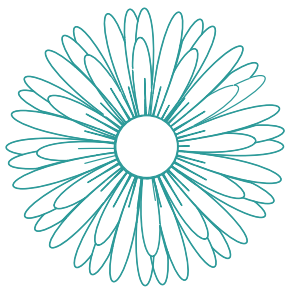


はじめに

あの震災から3度目の夏。

2年前の夏の沿岸部は、瓦礫だらけの景色から仮設住宅が建ち並びはじめ、雑草が目立つ土地や行きかうトラックなど見慣れない景色だらけでした。それが、いつのまにか日常の景色へと変化していきました。



これまでの活動を続けていく中で、東北以外の多くの方は、復興は進んでいると思われる方が多いことを知りました。また、震災後の様々な支援は、時間の経過とともに支援が終わる数は増えています。

3度目の夏に、やっと瓦礫が片付き「東北の復興」は、これからが本番です。

復興進行中の「今の東北」を一人でも多くの方にお届けしたい。

そして今しか感じることができない東北に行ってみよう!と感じてもらえたらと願います。

私達が全ての復興状況をお伝えすることはできませんが、この冊子を通して少しでも興味を持っていただければ幸いです。

平成25年9月
ままふあ会一同

ままふあ会とは・・・

2011年12月発足。仙台在住、子育て中のママ7人が子育てしながらできる東北復興支援を提案、発信するための団体。子どもが遊び、走り回るかたわら、子育て情報を交換しつつ各メンバーの得意スキルを生かし、本冊子の発行、上映会、復興マルシェ等を企画・実施。メンバーの子ども達は、下は1歳、上は12歳の総勢13名。モットーは「ママもキッズも笑顔の復興支援!」

INDEX

エッセイ 私と石巻と「イシノマキにいた時間」 P3
 買い物で東北の復興を応援しよう! P4
 ベルマークを集めよう・送ろう P7
 ままふあトーク 聞いてみよう!話してみよう!震災のこと。復興のこと。 P8
 ま・ま・ふ・あ Information P10

エッセイ

2013年12月6日(金)名古屋市東文化小劇場にて上演決定!

私と石巻と「イシノマキにいた時間」byみーちゃんママ



仙台と石巻の温度差が辛い

震災から8か月が経とうとしていた頃、自宅仙台と実家石巻の日常風景の違いに、私は戸惑い、心のバランスを崩していました。

仙台から車で1時間足らずで行ける石巻。私の大好きな故郷に、大事な兄をたった一人残して仙台に帰らなければならない辛さ。何をどこまで続ければ見通しがつくのか。言葉にできない感情が私の中で渦巻いていました。しかし当事者でなければ判らないと夫や兄弟にも話せずにいました。

ところがある日、「イシノマキにいた時間」のチラシにあった福島カツシゲさんのコトバが心に強く響きました。

「私と同じ想いの人があった!」

Profile

みーちゃんママ
仙台在住。現在「ままふあ会」の代表。東日本大震災の津波で石巻の実家は被害を受ける。彼女の兄は実家跡地にて自宅の再建を希望するものの、メドがたたないまま。毎月11日の月命日には実家跡地を訪れる。趣味はアロマ、手作り、お酒。

「イシノマキにいた時間」

舞台「イシノマキにいた時間」は、今も石巻を歩き来している大阪出身のコメディアン福島カツシゲさんが作・演出を手がける作品です。震災後に石巻のボランティア活動で見た景色、聞いた声、感じた思いを2011年12月に2人芝居として東京で上演したのが始まりです。翌年3月に3人芝居になり全国9都市48公演が行われました。仙台での公演は3日間すべて満員御礼でした。リアルタイムな「イシノマキ」を実感できると話題の作品です。

公演で集められる支援金は「イマ、ココプロジェクト」や荒波牡蠣復活委員会など石巻の漁業復興の活動団体や仮設住宅に寄付されています。

この「演劇にて現状を伝え、支援を募り、現地復興に役立てる」というユニークな仕組みが今後も継続していくこと、そして日本全国の人がこの作品を通じて進まぬ復興の現実、それを間近に見つめる当事者達の葛藤に関心を持ち続けてくれることを願います。

DATA 復興支援舞台「イシノマキにいた時間」

～震災から2年が過ぎ、何が違って、何が変わらずにいるのか～
【作・演出】 福島カツシゲ
【出演】 福島カツシゲ 石倉良信 田口智也

【企画・制作】(株)EMA、ベストラーチ(株)
東日本大震災後、石巻で活動する小さなボランティア団体「take action」の代表、宮川廣貴(ヒロキ)は震災後すぐに石巻でボランティア活動を始め、今も活動を続けている。実家が工務店の安田幸一郎(ヤス)はゴールデンウィークにやってきてから長期の活動を続けている。フリーターの飯田人志(ヒトシ)はバイトを辞める度に石巻にやってくる。どちらかというと、石巻に来る度にバイトを辞めている。飯田のように、何度も石巻にやってくるボランティアを「カムバック組」と呼んでいた。2011年が終わる頃「いつまで?どんな支援を?誰のために?」被災地に残っているからこそ答えが出ない葛藤が生まれていた。そして今日も悩みながらも、朝からテンションの高い宮川と、ことごとく普通なテンションの安田のボランティアな1日が始まり、また飯田はバイトを辞めて石巻に戻ってきた。

<上演予定>
2013年12月6日(金)
名古屋市東文化小劇場にて
WEB/Facebookの検索は「イシノマキにいた時間」